

前略 今年上半期は通常国会において外交防衛委員会、地方創生・デジタル社会形成特別委員会の公明理事として奔走。20回を超える質疑を重ね、その後参院選支援に全力で駆けました。党員・支持者の皆様から血の滲むような真心からのご支援を賜り、最激戦区・兵庫選挙区の伊藤たかえ候補は逆転大勝利することができました。ここに衷心より感謝と御礼を申し上げます。

本号は本年前年に取り組ませて頂いた活動を中心的に紹介しています。コロナ禍 ウクライナ戦争の平和的解決、物価高騰への対策等、政治を取り巻く課題は山積ではある。希望ある未来をかるると兵庫の地から拓いていく、この初心に立ち返り、新たに挑戦を開始しております。今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

草々 2022年7月 参議院議員 高橋光男



Profile

公明党国際局次長・同兵庫県本部青年局長。参議院外交防衛委員会理事、同地方創生・デジタル社会形成特別委員会理事。防災士。

1977年、兵庫県宝塚市生まれ。阪神淡路大震災を経験。大阪外大(現大阪大)英語科在学中に外交官試験に合格し中退。外交官として、在ブラジル日本大使館一等書記官等歴任。ポルトガル語通訳官として首脳外交も担う。子育て世代、二児の父親。

2019年7月、第25回参議院通常選挙兵庫選挙区初当選。2021年3月、中央大学法学部卒業。(2022年8月現在) 座右の銘「建設は死闘、破壊は一瞬」

SDGsとは…

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、日本を含む国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するため掲げた国際社会共通の目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、貧困や飢餓といった問題から、働きがいや経済成長、気候変動に至るまで、21世紀の世界が抱える課題を包括的に挙げている。



伊藤たかえ 参議院選挙逆転大勝利! 心から感謝!!

本年7月の第26回参議院通常選挙・兵庫選挙区にて伊藤たかえ候補は454,962票を獲得し当選。公明党は全国7選挙区全員当選を果たしました。党員・支持者の皆様の真心からの絶大なるご支援に心より感謝申し上げます。伊藤議員と力を合わせ、兵庫の希望の未来を拓きゆくためご恩返しの戦いに邁進してまいります。



高橋みつおホームページ リニューアルしました!

この度、ホームページをリニューアルしました。検索機能で各地での活動の検索(例えば「神戸市」と入力)、国会議事録の閲覧など、高橋みつおの活動をより細かく皆様にお伝えしていきます。ぜひご覧ください!

ページ内検索ができるようになりました。
国会議事録が閲覧できるようになりました。

詳しくはこちらから!

<https://takahashi-mitsuo.com/>

QRコード

こちらからどうぞ!

YouTube「みっちゃんねる」

国会での活動や、皆様に知りたいこと。たくさんお話ししています。ぜひご覧ください!



Bridge the Futureは「未来をつなぐ」という意味です。国と国、人と人に橋を架け、希望の未来をつなぐ。高橋の「橋=Bridge」と、みつおの「M」を組み合わせた決意を表したロゴです。

発行:公明党参議院兵庫選挙区第2総支部

兵庫事務所

〒650-0015 兵庫県神戸市中央区多聞通3-3-16
甲南第1ビル 1102号室
TEL:078-367-6755 FAX:078-367-6756
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館 614号室
TEL:03-6550-0614 FAX:03-6551-0614

国会事務所

2022年7月発行



高橋みつお 通信 Vol.6

最新情報を日々
発信しています!
ぜひご覧ください



LINEの
友達追加は
こちら! →





コロナ禍・ウクライナ危機に敢然と立ち向かう!

今年は年初より参院議運委にてまん延防止等重点措置発令に際して登壇し、現場のお声を受けて看護職員の待遇改善、放課後児童クラブへの支援、燃油高騰対策などを求めました(1/25、2/10、3/10)。

ウクライナ危機に関しては、岸田総理のG7サミット出席に伴う帰朝報告に対し、参院本会議で代表質問をさせていただきました(4/1)。対ロシア制裁強化、在ロシア・ベラルーシの在留邦人安全確保、対話に基づく平和的解決のための働きかけ強化、周辺国を含む二国間・国際機関連携での人道支援、ウクライナ避難民の円滑な受け入れ支援、適切なタイミングでの我が国主導によるウクライナ復興支援国会合の開催等を具体的に求め、総理からいずれも前向きな答弁を得ました。

いずれも現在進行中の最重要課題。これからも全力を尽くしてまいります。



人間 PEOPLE



地 球 PLANET



地球温暖化への対策を国内外で地道に推進!

地球温暖化の影響により自然災害が激甚化・頻発化。有事の対応のみならず平時から備えも不可欠です。防災・減災・国土強靭化の対策を一層後押しするための予算確保はもとより、実施に当たっての人員体制も喫緊の課題。国が令和2年度から導入した技術職員派遣制度をより充実化するため、公明党主導で導入された「気象防災アドバイザー」制度を援用した新たな委嘱型派遣制度創設を提案(4/13)。「技術職員OB・OG活用は有効な方策と認識」(国交省)との答弁を得ました。



飛行艇開発メーカーへの視察(5/30)



参院外交防衛委員会での質疑(4/17)

昨年の足利森林火災を受けて、国は大規模火災時の効果的な消火活動のあり方を本格的に検討開始。救難飛行艇を改造した「消防飛行艇」の活用を国会で提案し(4/13)、QUAD(米国・豪州・インド・日本)諸国をはじめ大規模火災に悩まされている諸外国への国際協力の可能性も併せて要請(5/19)。

いずれの課題も実現に向けて尽力してまいります。

コラム1 コロナ禍に負けずに日本と世界をつなぐ!

留学生は日本と世界を結ぶ懸け橋。昨年12月以来、政府の厳格な水際措置のため、留学生はじめ外国人の入国が不可能に。そうした中、ブラジル人留学生アナイスさんから卒業式出席を切望するお手紙が届きました。山口代表が記者会見で取上げられ、私も政府に強く働きかけ。先行的に必要な情報を提供した結果、3月中旬の卒業式に出席できました。同時に技能実習生やビジネス関係者の来日も可能に。その後、国際カップル含む知人・親戚等がいる外国人の入国緩和も実現しました。



アナイスさん喜びの来訪(3/29)

女性のエンパワーメントと兵庫の魅力磨きに全力!

コロナ危機による景気後退によって、日本のみならず世界的にも職を追われた方が多くが女性。家族や身近な人の世話を看病するため、キャリアを中断または休職した女性も多く存在。ポストコロナ社会を築く上で女性のエンパワーメントとジェンダーギャップ解消が鍵になると確信します。我が国主催WAW!(国際女性会議)を再開し、そうした課題を議論することを国会で提案(3/5)。一方、女性のデジタル人材育成も豊岡市の好事例を国会で取り上げたところ(3/23)、同様に後押ししている宝塚市の取組と併せて国のプランの好事例として紹介されました(4/26)。

一方、燃料・肥料・飼料等の高騰にあえぐ農業の現場を支え、兵庫の豊かな食を守り抜くことも重要です。国に必要な対策を引き続き求め実施を促すと共に、観光資源も含めた魅力の発信や磨きをかける取組(例えば但馬牛の世界農業遺産登録支援等)にも注力してまいります。



豊岡市の子育て支援総合拠点を訪問(5/2)



澤本兵庫JA中央会会長と直売所を視察(4/7)

豊かさ PROSPERITY



平和構築・人道支援・国際保健などの協力をさらに!



伊丹空港でウクライナ避難民受け入れ(6/22)

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は明確な国際法違反であり断じて認められません。平和を取り戻すため、多国間主義に基づく粘り強い対話努力を一貫して主張。同時に現地での人道支援と日本への避難民支援も欠かせません。ウクライナ人の奥様がいる川西市の方から公明市議を通じて、家族・親戚の避難を求めるお声を受け、市会・県会・国会の連携を通じて受け入れ支援(6/22)。引き続き、党ウクライナ避難民支援対策本部事務局次長・同兵庫県本部事務局長として支えていきます。同時に、国会で求めたアフガニスタン等の避難民への公平な支援拡充(4/18)にも取り組み続けます。



国際保健推進委員会の申し入れ(4/28)

一方、エイズ、マラリア、結核、ポリオなど、世界にはコロナのみならず様々な感染症があり、国際保健を強化することは世界の中の日本を守ることにつながります。党国際保健推進委員会事務局長として、国際協力を一層促進してまいります。



コラム2



日本玩具博物館で現場のお声をうかがう(1/31)

コロナ禍の影響により来館者数が激減し経営難に苦しむ博物館が数多くあります。年始に日本玩具博物館(姫路市)でのお声を受けて、登録博物館の認定を受けないような私立博物館であっても支援を充実させるべきことを国会で強く要請(4/13)。今年度から国は私立博物館への支援を含む新たな事業を立ち上げました。必要とされる施設への活用を促してまいります。



コラム1 コロナ禍に負けずに日本と世界をつなぐ!

留学生は日本と世界を結ぶ懸け橋。昨年12月以来、政府の厳格な水際措置のため、留学生はじめ外国人の入国が不可能に。そうした中、ブラジル人留学生アナイスさんから卒業式出席を切望するお手紙が届きました。山口代表が記者会見で取上げられ、私も政府に強く働きかけ。先行的に必要な情報を提供した結果、3月中旬の卒業式に出席できました。同時に技能実習生やビジネス関係者の来日も可能に。その後、国際カップル含む知人・親戚等がいる外国人の入国緩和も実現しました。



アナイスさん喜びの来訪(3/29)